

# 第4次 下田市総合計画

2011年 ⇒ 2020年

概要版

SHIMODA

静岡県下田市

## ご挨拶

### 自然と歴史を活かし、 やすらぎと活力のある美しいまち

このたび、平成23年度を初年度とする10ヶ年のまちづくりの指針となる「第4次下田市総合計画」を策定しました。

本計画の特徴としては、「経営管理が可能である」「健全な行財政運営を維持する」「市民と行政が共有する」の3点が挙げられます。

この3点の特徴を設けたのには、この10年の本市の厳しい行財政状況がありました。第3次総合計画を策定した10年前の平成13年度当初には約251億円の市債残高がありましたが、行財政改革の推進などにより現在約193億円まで減らすことができました。

財政状況は改善してきましたが、その間市民の皆さまには様々なご負担をいただくとともに、公共施設の耐震化や統廃合などの見合わせにより、ご迷惑をおかけした面もあったかと存じます。

そうした反省から本計画では、基本目標、目標値、財政計画などを示し、行政運営の効率化と行政サービスの維持向上を継続的に推進していくとともに、今後10年で優先的かつ重点的に取り組む事業を明示し、必要な事業を計画的に推進してまいります。

なお、事業については、アンケートや地区懇談会などで多くの市民の皆さまから要望のあった生活に密着したものを

中心に進めていくこととしました。

また、計画原案は、市役所の若手・中堅職員により手づくりの作業で進められ、これからの市政の担い手として貴重な経験を積んだことも大きな成果と捉えています。

今後も人口減少、少子高齢化や経済状況など、本市を取り巻く環境は厳しさを増していくことが予想されます。そうした逆境を乗り越えて、将来都市像である「自然と歴史を活かし、やすらぎと活力のある美しいまち」を実現していくためには、市民の皆さまと行政が協働し、一丸となってまちづくりを行っていくことが一番重要となります。

本計画のもと、より成果を重視し、より開かれた市政を推進するために、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりまして、ご尽力を賜りました総合計画審議会委員並びに市議会議員の皆さまをはじめ、経済団体の皆さまや地区懇談会、まちづくりアンケート、パブリックコメントなどで貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆さまに心からお礼を申し上げます。

平成23年3月

下田市長 石井直樹



## 下田市民憲章

(昭和45年12月21日告示第32号)

わたくしたちの住む下田は、開港の歴史に彩られ、近代日本にれい明をもたらした港と海と山に囲まれたいで湯のまちであります。

わたくしたち、下田市民は、この郷土に限りない愛情と誇りをもち、わがまちをより美しく住みよいまちとするために、ここに市民憲章を制定し、これを生活の信条として、更に自覚を深め、いましめ合って、よりよい市民となることを誓います。

- 1 下田の街は、  
我等の姿、美しい街をつくりましょう。
- 2 下田の港は、  
我等のふるさと、訪れる人を温かく迎えましょう。
- 3 郷土の歴史は、  
我等の誇り、住みよい街をつくりましょう。
- 4 はまゆうは、  
我等の香り、自然を大切に守りましょう。
- 5 太平洋は、  
我等の力、力いっぱいはげみましょう。

## 下田市平和都市宣言

(平成21年12月11日可決)

開港の歴史に彩られ、近代日本に黎明をもたらした港と海と山に囲まれた、いで湯のまち、下田。この素晴らしいまちで、平和で豊かな暮らしを次の世代に引き継ぐことが、私たち下田市民の願いである。

世界平和の実現は人類共通の願いであるが、今なおこの地球上では、戦争やテロリズムなどにより尊い人命が失われており、核兵器の拡散も懸念されている。

私たちは、このかけがえのない地球の平和と美しい自然を守るため、あらためて日本国憲法の掲げる恒久平和の理念のもと、核兵器など大量破壊兵器の廃絶と世界平和の実現に貢献することを表明し、下田市が平和都市であることを宣言する。



## 第4次下田市総合計画

概 | 要 | 版 |

contents

市長あいさつ .....	2
下田市民憲章 .....	2
下田市平和都市宣言 .....	2

序論・基本構想	
総合計画とは、期間と構成、特徴 .....	3
人口の推移、市民の満足度・重要度 .....	4
基本理念、将来都市像、施策体系 .....	5

基本計画	
I 美しいまちづくり .....	6
II 人が輝くまちづくり .....	7
III 活力あるまちづくり .....	9
IV 安心なまちづくり .....	10
V 持続発展できるまちづくり .....	12

# 序論・基本構想

## 総合計画とは

第4次下田市総合計画は、今後10年間のまちづくりの基本的な方向を示し、より豊かな市民生活を実現するための総合的な指針です。

## 計画の期間と構成

### 基本構想

市の目標とする将来都市像とこれを実現するために必要な施策の大綱を提示するものです。

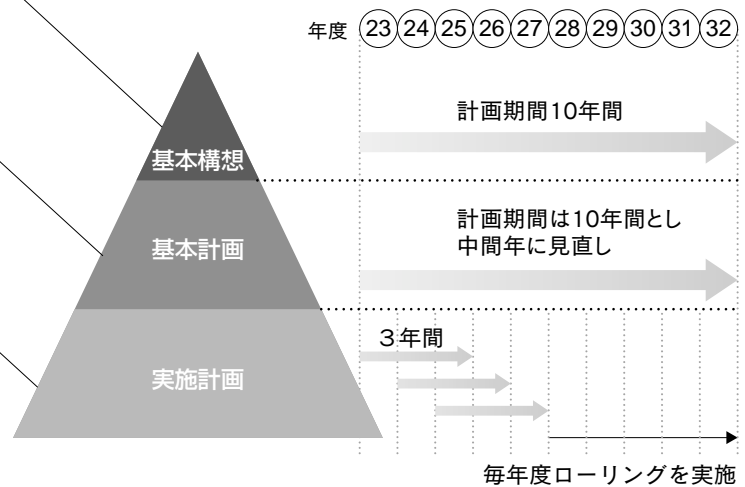
### 基本計画

基本構想の施策の大綱に基づき、分野別に基本目標を定め、実現するための施策を体系的に提示するものです。

### 実施計画

基本計画に示された施策に基づき、具体的な事務事業を定めるとともに、予算編成の指針として位置付け、本計画の実効性を確保するものです。

平成23年度から平成32年度までの10年間とします。



## 計画の特徴

### 1 経営管理が可能な計画

行政に経営的な視点を取り込み、目標を明確化し事業の成果を追求しつつ、資源を効果的に投入できる戦略計画とします。行政運営サイクルの出発点となる計画とするために、達成状況の評価や検証ができるように、目指すべき具体的な目標値を提示します。

### 2 健全な行財政運営を維持できる計画

限られた財政状況のなかで、優先的かつ重点的に取り組むべき事業を明示するとともに、人口、経済などの社会環境や行政事情に配慮した計画期間内の財政計画を提示します。

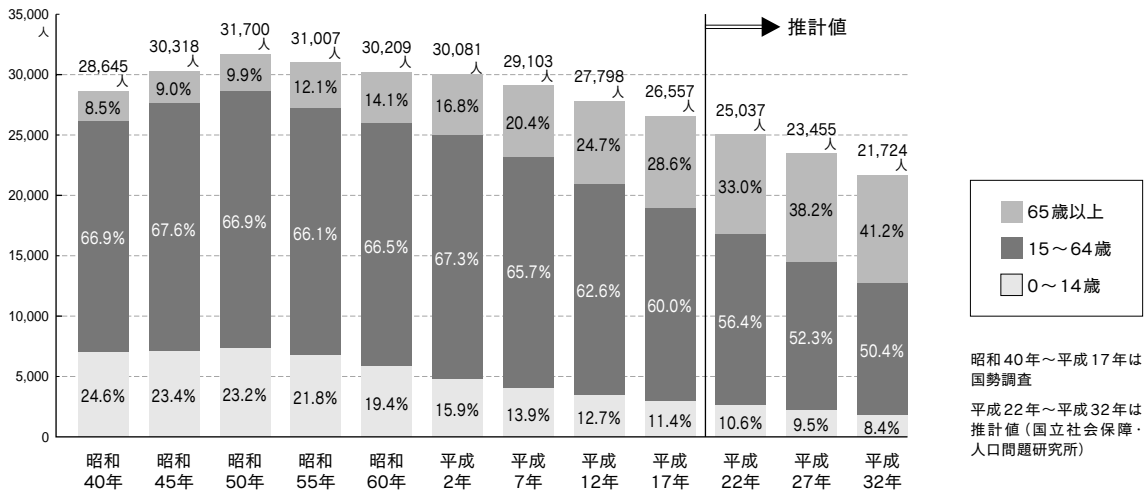
### 3 市民と行政が共有する計画

本計画に定める目標は、行政のみでなくすべての市民や事業者、市民活動団体などが共有し、ともに歩むべき目標となるものです。これからのまちづくりを互いに連携・協働しながら進めていくことを目指します。

## 人口の推移

平成17年に実施した国勢調査によると、本市の人口は26,557人となっており、昭和50年の31,700人の約8割となっています。今後も人口の減少が予想され、平成32年には約22,000人になると推計されます。

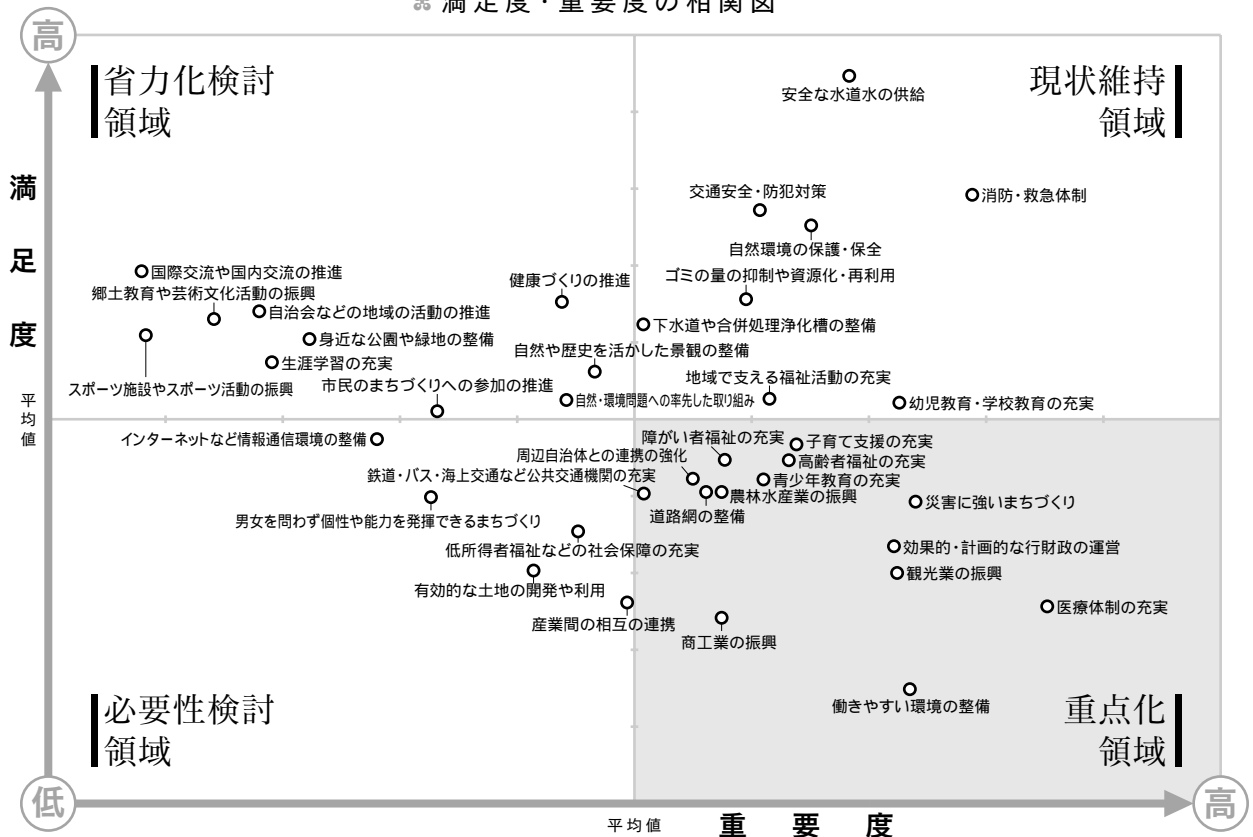
※ 年齢別人口の推移



## アンケート調査による市民の満足度・重要度

計画の策定にあたり20歳以上の市民1,000人を対象にしたアンケート調査を行いました。以下は、そのうち、まちづくり37項目に対する満足度(縦軸)・重要度(横軸)を相対的に表したものです。

※ 満足度・重要度の相関図



## 基本理念・将来都市像・施策体系

基本理念

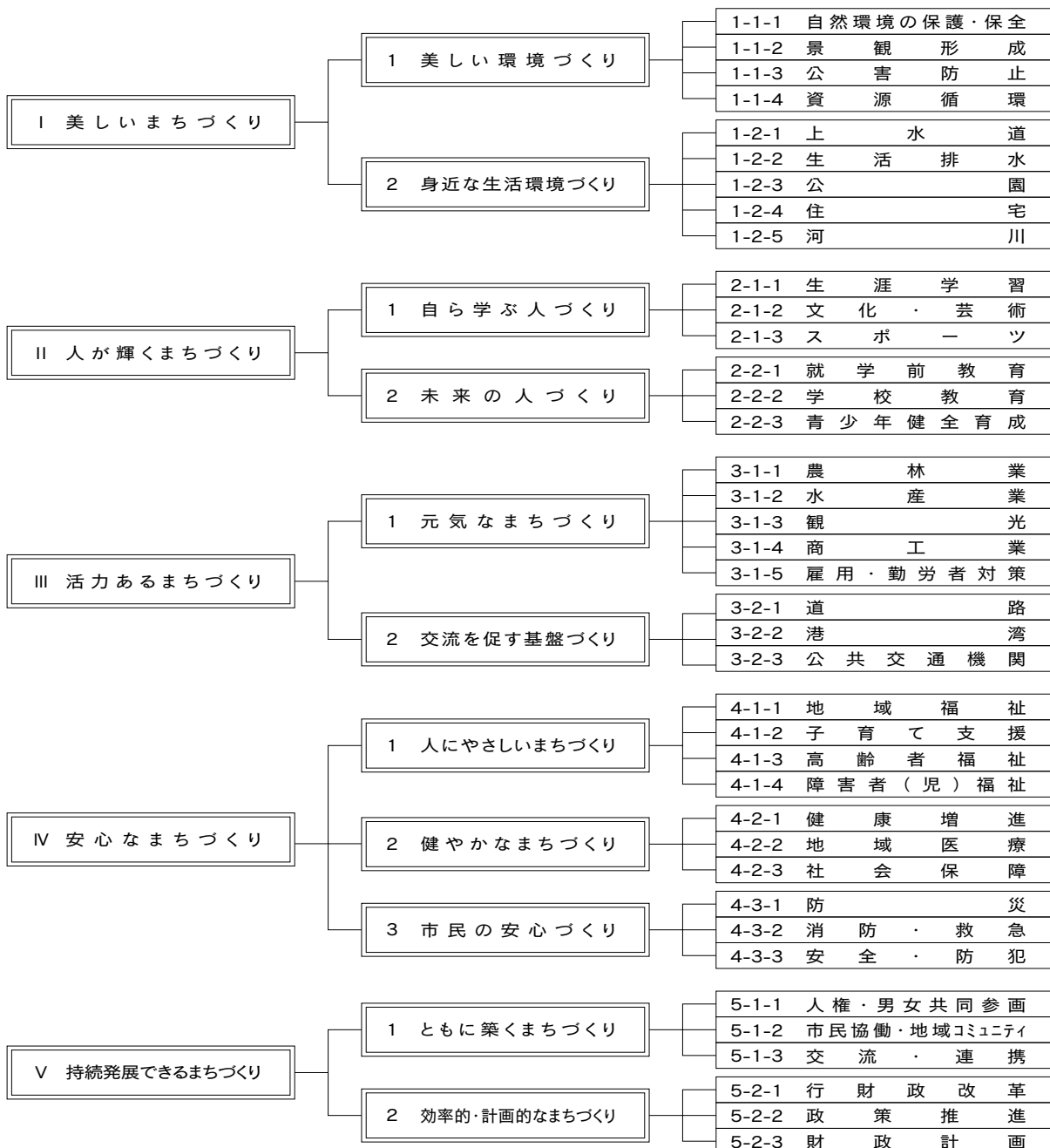
「下田を愛する、市民を始めとする幅広い人の参加により、本市の持つ自然や歴史、文化を活用し、市民一人ひとりが誇りを持って暮らすことのできるまちづくり」

将来都市像

# 自然と歴史を活かし、 やすらぎと活力のある美しいまち

### 基本構想

### 基本計画



# 基本計画

## 美しいまちづくり

### 1 美しい環境づくり

#### 1-1-1 自然環境の保護・保全

**基本目標** 自然環境を守り、人と自然が共生する美しいまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	海水浴場の水質調査AAの数(9箇所中)	8箇所	9箇所	9箇所	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境学習の推進</li> <li>●河川浄化の推進</li> <li>●不法投棄対策の推進</li> <li>●環境保全施策の推進</li> <li>●地球温暖化の抑制</li> <li>●新たな事業への対応</li> </ul>
	自然環境の保護・保全に満足している市民の割合	65%	68%	70%	

#### 1-1-2 景観形成

**基本目標** 下田まち遺産を守り活用し、市民が愛着と誇りを持ち、良好な景観が活かされる、魅力あるまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	下田まち遺産の認定件数	0件	55件	110件	<ul style="list-style-type: none"> <li>●下田まち遺産の未来への活用</li> <li>●良好な景観の形成</li> <li>●花いっぱい運動の推進</li> </ul>
	景観重点地区数	0地区	1地区	2地区	
	自然や歴史を活かした景観の整備に満足している市民の割合	41%	51%	61%	

#### 1-1-3 公害防止

**基本目標** 市民の生活環境を保護するために、より良好な居住環境の形成を目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	公害苦情件数	19件	15件	10件	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公害情報の提供</li> <li>●公害の相談・指導体制の充実</li> <li>●産業廃棄物や処分場の適正な処理・管理の推進</li> </ul>
	自然・環境問題への率先した取り組みに満足している市民の割合	36%	46%	56%	

#### 1-1-4 資源循環

**基本目標** 市民総参加で循環型社会の実現を目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	リサイクル率	15%	22%	26%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●4Rの推進</li> <li>●収集体制の効率化</li> <li>●資源の有効活用の推進</li> <li>●施設整備の推進</li> </ul>
	ゴミの量の抑制や資源化・再利用に満足している市民の割合	55%	63%	70%	

## 2 身近な生活環境づくり

### 1-2-1 上水道

**基本目標** 安全で安定した水の供給に努めます。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	普及率	96.3%	97.0%	97.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安定した水の供給</li> <li>●老朽化した施設の更新</li> <li>●安全な水の供給</li> </ul>
	新規拡張区域における給水人口	—	115人	239人	
	石綿管比率	9.7%	7.5%	5.0%	
	安全な水道水の供給に満足している市民の割合	77%	77%	77%	

1-2-2 生活排水

**基本目標** 公共用水域の水質を保全するとともに、地域に適した生活排水処理施設の整備を行い、清潔で快適なまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	公共下水道接続率(水洗化率)	66.9%	74.2%	80.0%	
	合併処理浄化槽設置替整備率	10.5%	11.9%	13.1%	
	下水道や合併処理浄化槽の整備に満足している市民の割合	51%	60%	70%	

1-2-3 公園

**基本目標** 市民が安心して楽しむことのできる憩いの場を創出します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	敷根公園利用者数	97,735人	100,000人	100,000人	
	身近な公園や緑地の整備に満足している市民の割合	48%	58%	68%	

1-2-4 住宅

**基本目標** 安心・安全な生活を守るため、市営住宅の整備や住宅の耐震化の支援を推進します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	市営住宅耐震化率	44%	46%	100%	
	民間住宅耐震化率	49%	58%	65%	

1-2-5 河川

**基本目標** 景観や生態系に配慮した、安全な水辺空間の創出を目指します。

- 主な取組
- 治水対策の推進
  - 水辺空間の整備

人が輝くまちづくり

1 自ら学ぶ人づくり

2-1-1 生涯学習

**基本目標** いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	公民館講座数(種別)	20種	20種	20種	
	寿大学講座受講者数	62人	80人	100人	
	社会教育団体登録数	170件	185件	200件	
	生涯学習の充実に満足している市民の割合	47%	57%	67%	

## 2-1-2 文化・芸術

**基本目標** 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組	
目標値	市民文化会館文化事業入場者数	6,025人	6,150人	6,300人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化施設の整備</li> <li>●文化・芸術活動の活性化</li> <li>●文化財などの保存、継承</li> </ul>	
	芸術祭	出展数	214点	235点		260点
		入場者数	3,316人	4,000人		4,000人
	郷土教育や芸術文化活動の振興に満足している市民の割合	52%	61%	70%		

## 2-1-3 スポーツ

**基本目標** 市民がいつでも気軽にスポーツを楽しむことができるまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	スポーツ施設の利用者数	184,765人	185,000人	185,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設の有効活用</li> <li>●スポーツの振興</li> </ul>
	学校開放の利用者数	50,971人	51,000人	51,000人	
	スポーツ施設やスポーツ活動の振興に満足している市民の割合	49%	59%	69%	

## 2 未来の人づくり

### 2-2-1 就学前教育

**基本目標** 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	認定こども園数	0園	1園	1園	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設の再編、整備の推進</li> <li>●就学前教育の充実</li> <li>●幼稚園での子育て支援機能の充実</li> </ul>
	幼稚園耐震化率	25%	100%	100%	
	幼児教育・学校教育の充実に満足している市民の割合	41%	51%	61%	

### 2-2-2 学校教育

**基本目標** 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	小学校不登校児童の割合	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育施設の整備</li> <li>●総合的な学習の推進</li> <li>●家庭、地域との連携</li> <li>●いじめ、不登校対策と特別支援教育の充実</li> </ul>
	中学校不登校生徒の割合	1.96%	1%	0%	
	学校施設耐震化率	96.4%	100%	100%	
	幼児教育・学校教育の充実に満足している市民の割合	41%	51%	61%	

### 2-2-3 青少年健全育成

**基本目標** 家庭、地域、学校と関連機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	家庭教育学級受講者数	1,361人	1,300人	1,300人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健全育成の推進</li> <li>●青少年活動の充実</li> </ul>
	青少年教育の充実に満足している市民の割合	29%	39%	50%	



## 活力あるまちづくり

### 1 元気なまちづくり

#### 3-1-1 農林業

**基本目標** 農林地の保全と有効利用を進めるとともに、意欲ある担い手が育つ魅力ある農林業を目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	耕作放棄地調査による耕作放棄地面積	33.6ha	27.3ha	21.0ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農地の有効利用</li> <li>●地域資源の活用</li> <li>●有害鳥獣対策の充実</li> <li>●森林の荒廃対策</li> <li>●経営体制の支援</li> <li>●農林道の整備</li> </ul>
	間伐促進事業の実施面積	2.3ha	5ha	10ha	
	農林水産業の振興に満足している市民の割合	28%	39%	50%	

#### 3-1-2 水産業

**基本目標** 水産資源の育成と活用を進めるとともに、意欲ある担い手が育つ魅力ある水産業を目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	水揚高	数量	3,554t	3,590t	<ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業環境の整備</li> <li>●安全で良質な水産物の供給</li> <li>●水産資源の保護、育成</li> <li>●経営体制の支援</li> <li>●地域資源の活用</li> </ul>
		金額	3,221,728千円	3,253,945千円	
	農林水産業の振興に満足している市民の割合	28%	39%	50%	

#### 3-1-3 観光

**基本目標** 自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	観光交流客数	観光レクリエーション客数	2,077,177人	2,100,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観光ソフトの充実</li> <li>●おもてなしの心の充実</li> <li>●訪れやすいまちづくりの整備</li> <li>●新たな誘客への取組</li> </ul>
		観光宿泊客数	866,118人	900,000人	
	外国人宿泊者数	2,692人	6,400人	12,200人	
	観光業の振興に満足している市民の割合	22%	36%	50%	
産業間の相互の連携に満足している市民の割合	14%	32%	50%		

#### 3-1-4 商工業

**基本目標** 既存の中小企業の振興とともに、観光など他産業と連携した取組を行い、活力のあるまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組	
目標値	商工会議所の登録会員数	1,055人	1,055人	1,055人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商工業の振興</li> <li>●中小企業の安定経営</li> <li>●情報化の推進</li> <li>●市街地の活性化</li> </ul>	
	工業	事業所数	23事業所 (平成20年度)	23事業所		23事業所
		従業者数	334人 (平成20年度)	337人		340人
		製造品出荷額	4,289,920千円 (平成20年度)	4,332,820千円		4,376,150千円
商工業の振興に満足している市民の割合	14%	32%	50%			
インターネットなど情報通信環境の整備に満足している市民の割合	38%	48%	58%			

#### 3-1-5 雇用・勤労者対策

**基本目標** 多くの雇用の場の確保と就労の安定に努め、安心して働くことのできるまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	有効求人倍率	0.89	0.98	1.08	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雇用環境の整備</li> <li>●福利厚生の充実</li> <li>●企業誘致</li> </ul>
	働きやすい環境の整備に満足している市民の割合	7%	29%	50%	

## 2 交流を促す基盤づくり

### 3-2-1 道路

**基本目標** 自然環境や景観を活かしながら、市内外へ安全で円滑な移動ができる道路網を整備します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	都市計画道路整備率	58%	62%	64%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幹線道路の整備</li> <li>● 都市計画道路の整備</li> <li>● 生活道路の整備</li> <li>● 歩行者ネットワークの整備</li> </ul>
	道路網の整備に満足している市民の割合	34%	44%	54%	

### 3-2-2 港湾

**基本目標** 港のもつ多くの機能を活かし、人の集まるにぎわいの場を整備します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	入港船舶 隻数	1,439隻	1,600隻	1,600隻	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 港湾機能の整備</li> <li>● にぎわいの創出</li> <li>● 港湾周辺の計画的・効率的な土地利用の推進</li> </ul>
	入港船舶 総トン数	304,219t	302,000t	302,000t	
	乗降人数	14,018人	22,000人	22,000人	
	まどか浜海遊公園利用者数	298,800人	300,000人	300,000人	

### 3-2-3 公共交通機関

**基本目標** 市民や来遊者が利用しやすい公共交通体系を維持・構築します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組	
目標値	下田駅発着・経由のバス乗降者数	定期券利用者	202,857人	201,000人	200,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通体系の構築</li> <li>● 安全な鉄道の確保</li> <li>● 海上旅客航路の整備</li> <li>● 下田駅前広場の整備</li> </ul>
		定期券利用者以外	733,727人	734,000人	734,000人	
	伊豆急線市内3駅乗降者数	1,409,216人	1,410,000人	1,410,000人		
	神津島航路乗降者数	10,246人	11,000人	11,000人		
	鉄道・バス・海上交通など公共交通機関の充実に満足している市民の割合	30%	40%	50%		

## 安心なまちづくり

### 1 人にやさしいまちづくり

#### 4-1-1 地域福祉

**基本目標** 住み慣れた地域や家庭で住み続けられるよう、すべての人が互いに思いやり、ともに生きることができると目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組	
目標値	社協会員数	6,944世帯	6,800世帯	6,700世帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協働による地域福祉の推進</li> <li>● ボランティア団体への活動支援</li> <li>● 災害時要援護者への支援</li> <li>● 社会福祉協議会の基盤強化</li> <li>● 福祉意識の啓発</li> <li>● ユニバーサルデザインの推進</li> </ul>	
	ボランティア数	個人	150人	160人		170人
		団体	29団体 648人	32団体 660人		34団体 670人
	地域で支える福祉活動の充実に満足している市民の割合	40%	50%	60%		

### 4-1-2 子育て支援

**基本目標** 子どもが、いきいき輝き・健やかに育つ子育て支援社会を目指します。

目標値		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
ファミリーサポートセンター設置数		0箇所	1箇所	1箇所	
放課後児童クラブ利用者(通年)		2箇所50人	2箇所60人	3箇所140人	
子育て支援センター利用状況(週5日)		—	1日平均20組	1日平均20組	
緊急リフレッシュ保育利用延べ人数		1箇所100人	1箇所150人	1箇所200人	
子育て支援の充実に満足している市民の割合		32%	42%	52%	

### 4-1-3 高齢者福祉

**基本目標** 住み慣れた環境のもとで、心豊かに、自立した日常生活を送ることができるまちを目指します。

目標値		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
認知症サポーターの養成数		350人	875人	1,000人	
シルバー人材センター就業率		85.5%	88%	90%	
老人クラブ加入率		10.0%	12%	12%	
高齢者福祉の充実に満足している市民の割合		34%	44%	54%	

### 4-1-4 障害者(児)福祉

**基本目標** 障害者(児)が安心して暮らし、地域社会の一員として自立できるまちを目指します。

目標値		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
日中活動系福祉サービス利用者延べ人数		900人	990人	1,020人	
居住系福祉サービス利用者数		60人	66人	70人	
相談支援件数		753件	810件	840件	
障がい者福祉の充実に満足している市民の割合		33%	43%	53%	

## 2 健やかなまちづくり

### 4-2-1 健康増進

**基本目標** 自ら健康づくりに取り組み、健康で安心した生活を送ることができるまちを目指します。

目標値		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
特定健診受診率		28.1%	65%	65%	
各種がん検診受診率	胃がん検診	17.5%	50%	55%	
	肺がん検診	21.2%	50%	55%	
	大腸がん検診	26.2%	50%	55%	
欠食率(20歳以上)		21.9%	10%	5%	
1歳6ヶ月児健康診査受診率		89.1%	95%	100%	
3歳児健康診査受診率		96.5%	98%	100%	
健康づくりの推進に満足している市民の割合		54%	62%	70%	

### 4-2-2 地域医療

**基本目標** いつでも適切な医療が受けられるまちを目指します。

目標値		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
第1次・2次救急参加病院数		22施設	22施設	22施設	
賀茂圏内で医療が完結した割合(賀茂圏域搬送者数/救急搬送者数)		75.7%	80%	85%	
医療体制の充実に満足している市民の割合		18%	34%	50%	

#### 4-2-3 社会保障

**基本目標** だれもが健康で安心して生活できるまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	国民健康保険の一人当たり医療給付費	212,426円	201,805円	191,714円	
	低所得者福祉などの社会保障の充実に満足している市民の割合	27%	38%	50%	

### 3 市民の安心づくり

#### 4-3-1 防災

**基本目標** 防災意識が高く、災害に強いまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組	
目標値	市有公共建築物の耐震化率	31%	37%	72%		<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災基盤の整備</li> <li>●防災意識の高揚</li> <li>●地域防災力の強化</li> <li>●自然環境機能の向上</li> </ul>
	防災資機材の充足率	常備消防	63%	100%	100%	
		自主防災	75%	100%	100%	
	市	27%	100%	100%		
	津波警告・非難誘導標識の充足率	90%	100%	100%		
災害に強いまちづくりに満足している市民の割合	27%	38%	50%			

#### 4-3-2 消防・救急

**基本目標** 火災をなくし、市民が安心して生活できるまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	火災	件数	11件	0件	
		損害額	30,430千円	0千円	0千円
	消防・救急体制に満足している市民の割合	66%	68%	70%	

#### 4-3-3 安全・防犯

**基本目標** 犯罪や事故への不安を感じることなく、安心して生活できるまちを目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	交通事故	発生件数	167件	100件	
		死傷者数	238人	145人	85人
	犯罪件数	420件	390件	360件	
	交通安全・防犯対策に満足している市民の割合	67%	68%	70%	

### 持続発展できるまちづくり

#### 1 ともに築くまちづくり

##### 5-1-1 人権・男女共同参画

**基本目標** 性別、年齢、国籍などにかかわらず、個人の個性や能力が十分発揮できる社会を目指します。

		現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
目標値	審議会など委員の女性割合	12.2%	20.0%	30.0%	
	男女共同参画社会づくり宣言事業所数	4件	8件	12件	
	男女を問わず個性や能力を発揮できるまちづくりに満足している市民の割合	25%	37%	50%	

5-1-2 市民協働・地域コミュニティ

**基本目標** 開かれた市政運営を推進し、市民との協働によるまちづくりを目指します。

目標値	現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
	ホームページアクセス数(月平均)	93,448件	100,000件	
審議会委員の公募率	1.4%	3.0%	5.0%	
行政区加入率	68.76%	70.00%	70.00%	
自治会などの地域の活動の推進に満足している市民の割合	55%	62%	70%	
市民のまちづくりへの参加の推進に満足している市民の割合	38%	48%	58%	

5-1-3 交流・連携

**基本目標** 国内外において本市とゆかりのある各都市との多面的な交流と行政サービスの広域的な連携を推進し、地域活性化に努めます。

目標値	現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
	黒船祭入込客数	184,535人	200,000人	
国際交流や国内交流の推進に満足している市民の割合	55%	63%	70%	
周辺自治体との連携の強化に満足している市民の割合	32%	42%	52%	

2 効率的・計画的なまちづくり

5-2-1 行財政改革

**基本目標** 行財政改革を推進し、持続可能なまちづくりを目指します。

目標値	現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	主な取組
	地方債残高	200億円	185億円	
収納率(国民健康保険税を除く)	95.7%	96.5%	96.5%	

5-2-2 政策推進

**基本目標** 中長期的な視点で優先的に取り組むべき事業を明示し、計画的・効率的に事業を実施します。

目標値	現況(平成21年度)	平成27年度	平成32年度	*掲載事業は、P14の5-2-2政策推進事業一覧に掲載しています。
	掲載事業*実施率(件数)	0%	90%	
掲載事業実施率(事業費)	0%	68%	100%	

5-2-3 財政計画

※財政計画は、P15の5-2-3財政計画に掲載しています。

## 5-2-2 政策推進 事業一覧 (平成23年度～平成32年度)

主に関係する項目	事業名	事業の内容	事業費 (単位:千円)	主に関係する項目	事業名	事業の内容	事業費 (単位:千円)
1-1-4 資源循環	焼却炉維持事業	焼却炉の維持、修繕	388,000	3-2-1 道路	宮渡戸橋架け替え事業	橋架け替え工事	199,500
1-1-4 資源循環	缶プレス機更新事業	缶プレス機の更新	14,250	3-2-3 公共交通機関	鉄道施設老朽化対策事業(補助金)	伊豆急行施設改修 谷津トンネル1,483.3m	13,600
1-1-4 資源循環	ごみ収集車両管理事業	パッカー車の更新	20,400	4-3-1 防災	防災無線施設 デジタル化事業	地上無線回線の デジタル化	76,400
1-2-2 生活排水	合併処理浄化槽 設置整備事業	公共下水道認可区域外 などの設置替が対象	77,960	4-3-2 消防・救急	消防ポンプ自動車 整備事業	四輪、積載車、 小型ポンプの更新	138,940
1-2-3 公園	公園施設長寿命化事業 (敷根公園)	ろ過機、外壁防水、広場、 温水ボイラー交換	64,600	5-1-2 市民協働・ 地域コミュニティ	市制施行50周年 記念事業	記念式典、記念植樹、 市勢要覧作成等	8,000
1-2-4 住宅	地域住宅計画実施事業	既存施設改修 建設、解体	370,000	5-2-1 行財政改革	戸籍電算システム 入替事業	システム更新	18,000
2-1-1 生涯学習	下田市史編さん事業	市史編さん事業	84,574	5-2-1 行財政改革	共用車整備計画	共用車の購入	11,250
2-1-1 生涯学習	公民館統廃合事業	公民館の統廃合	18,700	5-2-1 行財政改革	庁内LAN管理事業	事務用パソコン、 サーバ、LANの管理	248,760
2-1-1 生涯学習	図書館建設事業	市庁舎と複合建設 (市庁舎建設 事業を含む)		5-2-1 行財政改革	電子申請、文書管理 システム導入事業	電子申請システム導入 文書管理システム導入	72,247
2-1-2 文化・芸術	市民文化会館 リニューアル整備事業	設備、施設、機材の リニューアル	351,300	5-2-1 行財政改革	基幹系システム 更新事業	住民情報システムの 管理	759,300
2-1-2 文化・芸術	吉田松陰寓居処 改修事業	屋根葺き替え	4,000	5-2-1 行財政改革	下田市固定資産税 システム作成業務	GISシステムの導入	61,750
2-1-3 スポーツ	スポーツセンター リニューアル整備事業	施設・設備等の改修	15,600	5-2-1 行財政改革	市庁舎建設事業	市庁舎の建設	2,120,200
2-2-1、4-1-2 就学前教育、 子育て支援	幼保再編事業	幼稚園、保育所の 統廃合	564,499	事業費小計			6,779,140
2-2-2 学校教育	パソコン整備事業	H24、30年小学校パソコン H27年中学校パソコン	82,000	1-2-1 上水道	未給水地域整備事業 (出資金)	水道事業会計繰出	104,000
2-2-2 学校教育	共同調理場整備事業 (稲生沢、浜崎、朝日、下田)	学校給食センター 統合新築	531,760	3-2-1 道路	県単道路整備事業 (負担金)	下田南伊豆線 河津下田線	150,000
2-2-2 学校教育	浜崎小学校東館 解体工事	解体工事	12,000	3-2-1 道路	都市計画街路下田港 横枕線改良事業 (負担金)	資料館前～了仙寺	78,750
3-1-2 水産業	地域水産物供給基盤 整備事業(須崎漁港)	陸開掘付 残土処分	31,000	3-2-2 港湾	下田港港湾整備事業 (負担金)	下田港維持修繕	31,500
3-1-2 水産業	地域水産物供給基盤 整備事業(板戸漁港)	防波堤改良、護岸、 物揚場	51,200	3-2-2 港湾	下田港港湾整備事業 (負担金)	下田港改修	121,700
3-1-2 水産業	田牛漁港 海岸環境整備事業	突堤設置、集落排水 施設改築	151,700	5-1-3 交流・連携	一部事務組合 追加事業(負担金)	消防、畜場、プラント	130,000
3-1-3 観光	爪木崎水仙園整備事業	水仙植栽、施設改修、 案内板整備等	6,000	負担金等小計			615,950
3-1-3 観光	旧澤村邸整備事業	耐震化、大久保婦久子 展示室整備	15,000	合計			7,395,090
3-1-3 観光	観光客環境整備事業	公衆トイレ整備事業	196,650				

## 5-2-3 財政計画

## 《 歳入 》

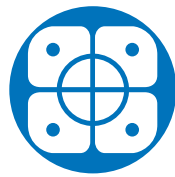
(単位:百万円)

	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
地方税	3,125	3,070	3,051	3,024	2,919	2,893	2,869	2,771	2,748	2,738
地方譲与税	380	380	380	380	380	380	380	380	380	380
地方交付税	2,460	2,496	2,484	2,439	2,459	2,364	2,390	2,477	2,594	2,595
国・県支出金	1,665	1,737	1,819	1,702	1,719	1,858	1,742	1,680	1,679	1,680
繰入金	120	238	193	393	204	13	7	1	1	1
地方債	621	781	1,220	1,251	954	786	684	595	607	595
その他の歳入	481	470	467	467	468	467	467	467	467	467
歳入計	8,852	9,172	9,614	9,656	9,103	8,761	8,539	8,371	8,476	8,456

## 《 歳出 》

(単位:百万円)

	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
人件費	1,793	1,779	1,746	1,738	1,716	1,701	1,671	1,671	1,658	1,645
物件費	1,047	1,051	1,004	1,028	1,031	1,021	1,086	1,100	1,047	1,069
維持補修費	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
扶助費	1,949	2,016	2,016	2,016	2,016	2,016	2,016	2,016	2,016	2,016
補助費等	843	845	845	850	849	849	847	846	846	846
普通建設事業費	367	704	1,373	1,441	1,019	713	428	298	377	389
公債費	1,076	1,071	1,027	995	880	869	906	863	813	826
積立金	187	172	73	76	77	75	76	67	209	155
繰出金	1,500	1,453	1,425	1,408	1,408	1,408	1,408	1,408	1,408	1,408
その他の歳出	49	40	64	63	66	68	60	61	61	61
歳出計	8,852	9,172	9,614	9,656	9,103	8,761	8,539	8,371	8,476	8,456
実質公債費比率 (参考)	13.4%	12.8%	12.0%	10.8%	9.7%	9.2%	9.2%	9.2%	9.1%	9.1%



#### 第4次 下田市総合計画 概要版

発行日——— 平成23年3月発行

発行——— 静岡県下田市

企画・編集—— 下田市役所企画財政課

〒415-8501 静岡県下田市東本郷一丁目5番18号

TEL0558-22-2212 FAX0558-22-3910

e-mail:kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp.

印刷——— (有)サン印刷